

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター

理事会議事録

1. 開催された日時 令和4年2月9日(水) 9時58分～10時47分
2. 開催された場所 一宮地場産業ファッションデザインセンター 2階第1会議室
3. 総数及び定足数 総数8名、定足数5名
4. 出席理事数 6名
(出席)中野 正康、豊島 半七、古池 哲朗、加藤 錠司郎、森 利明、本山 廣次
(欠席)早川 隆雄、上田 康彦

5. 出席監事 高木 康善

6. 議 題

承認事項

議案第1号「令和4年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込み」の件
報告事項

議案第2号「令和3年度事業進捗状況の報告」の件

7. 議事の経過及びその結果

定刻2分前に事務局から理事会の開会宣言をした。本日の出席は理事現在数8名中6名であり、理事会として成立していることを宣言し、また定款第35条に基づき中野理事長が議長、同第39条第2項に基づき議事録署名を中野理事長及び高木監事とし、議案の審議に入った。

(1) 承認事項

議案第1号「令和4年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込み」の件
議長の指示により、事務局から議案書及び参考資料に沿って詳細に説明した。

質疑応答の主な内容については次のとおりであった。

理事長:福祉衣料については、特別支援学校の生徒さんとやり取りしながら続いている、いいプロジェクトだと思うが、開発されたものは車椅子を利用している人であれば汎用性があるのか。
例えば、高齢者が外出する際に欲しいという場合に購入できるのか。

事務局:今回開発しているものは、車椅子の自走式と手動式の2タイプで、どなたでもお使いいただけるものである。過去に作ったレインコートは、生徒さんのサイズに合わせたものであったが、今回のものは最初から汎用性を見込んで製作したものである。市場性という意味合いも含めて展示会で汎用性を調査したい。

理事長:市場化を目指すと書かれており、意義深いプロジェクトだと思う。

以上で質疑が尽きたため、議案第1号について決議を諮ったところ原案通り承認を得た。

(2) 報告事項

議案第2号「令和3年度事業進捗状況」の報告の件

議長の指示により、事務局から議案書に沿って詳細に説明した。

質疑はなく、報告を終了した。

その他として以下の発言があった。

加藤理事:稲沢市では、中学生の制服を3年かけて取り組んでいくため順番に進めている。尾州マークも取り入れたいと考えているので、その際には協力をお願いしたい。

事務局:2月17日・18日に開催される総合展においても学生服を展示しPRするので、一般の方も是非ご覧いただきたい。

理事長:尾州の制服がどれだけ購入されたかということも今後、追跡調査してほしい。

議長は以上をもって議案の審議等を終了した旨を述べ、午前10時47分閉会を宣言した。

以上、この議事録が正確であることを証するため議事録署名人は記名押印する。

令和4年2月9日

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター

理事長

中野正康

監事

高木康善